

# 久慈農業改良普及センターだより



普及センター情報 225号

平成22年9月29日発行

久慈農業改良普及センター

TEL: 0194-53-4989

FAX: 0194-53-5009

普及センターホームページは検索画面で..

久慈農業改良普及センター 公式

検索

## ○稲作農家が省力・低コスト技術と耕畜連携のメリットを実感○

～久慈地方低コスト水田営農研究会が実証圃現地検討会を開催しました～

今年3月に設立した「久慈地方低コスト水田営農研究会」は、水田を活用した所得向上を目標に、省力・低コスト技術を導入した主食用米、稲発酵粗飼料（稲WCS）および飼料用米の生産体系実証を行ってきました。

9月15、16日には、研究会の主催で、管内4ヶ所に設置した実証圃の生育状況の確認と、稲WCS専用収穫機による作業実演の研修を目的とした現地検討会が開催され、研究会員および関係者等、約50名が参加しました。

各実証圃巡回では、栽培管理や生育の経過が説明され、収穫を目前にした稲を直に確認しながら、各参加者が活発に意見を交わしました。

また、稲WCS専用収穫機による収穫作業実演では、初めて目にする参加者も多かったことから、驚きの声が聞かれた一方で、早くも導入条件や活用方法についての質問も出されました。

この現地実証により、省力・低コスト技術と耕畜連携の経営的なメリットが農家に実感されつつあり、久慈地域の水田営農が新たな展開を見せ始めています。



稲WCS専用収穫機による  
収穫作業実演

## ○「暑さにもマケズ」フラワーコンテスト盛況！○

久慈地方では、スプレーギクの需要期に八戸市場への確実な出荷に取り組むなど、花き生産振興の新たな気運が生まれてきています。

こうした産地化の動きを支援するため、久慈地方農業農村活性化推進協議会が主催し、花き生産者の生産意欲・技術向上をねらいに、9月17日にフラワーコンテストを開催しました。

出品部門は、市場出荷向けとしてりんどう、スプレーギク、トルコギキョウ、小ぎくなどの主要品目に加え、変わったところでは産直向け350円程度の花束を出品する「カジュアルフラワーの部」があります。今年は高温で開花が遅れたにも関わらず合計50点もの出品がありました。

審査は、花色、葉の状態、ボリュームの状況に加えて、カジュアルフラワーの部も含め花束の構成や品質、値頃感などをポイントに、7点入賞しました。

翌日は出品物を産直祭で販売したところ、スプレーギクなどの売れ行きが良く、お客さんの反応を直に感じる事ができたコンテストでした。



暑さに負けず高品質